

誰もが活躍できる社会を目指して!



9月6日に紙芝居師のかみはるさん（神前はるかさん）とヤムちゃん（山田一成さん）から、パラリンピックと、かみはるさんの障がい乗り越えた生き方について学びました。かみはるさんは、生まれつき股関節に障がいがあり、杖を使って生活されています。そのことで過去にいじめられたり、ふさぎこんでしまったりしたそうです。しかし、障がいと向き合い、誰もが活躍できる社会を目指し、明るく前向きに生きようと努力されました。今では元芸人のヤムちゃんとともに、パラリンピックの伝道師として活躍されています。

～児童の感想より～

- ・パラリンピックに出ている人も、かみはるさんのように、苦難を乗り越えて、やっと自信をもって大勢の前に立っているといます。だから、パラリンピックをテレビで見、応援したいと思いました。
- ・パラスポーツの水泳では、釣り竿でできた棒で頭を叩いてあげて、壁が近づいていることを知らせている人がいることを知りました。パラリンピックを見るときは、選手だけでなく、選手を支えている人たちにも注目したいです。
- ・かみはるさんは、強い心も優しい心も持っていると思いました。私はすぐにあきらめたり、ネガティブになったりするので、あきらめずに、ポジティブ発言をしようと思いました。かみはるさんとヤムちゃんの話聞いて、自分もとても明るい気持ちになったし、なんでもできる気がしました。強い心が育った気がしました。
- ・私はヘルプマークをつけている人を助けてあげられるかと聞かれたとき、できないと思いました。でも今日のお話を聞いて、勇気を出して声をかけてみようと思いました。



数名の保護者の方に思いやりエピソードをいただきました。どれも心温まる素敵なエピソードでした。ありがとうございました。今後、竹の子でご紹介させていただけたらと思います。

引き続き、「やさしく、強い金明っ子」を保護者や地域の皆様と育てていきたいと考えています。

きりとり

思いやりエピソードを募集します！お子さんや金明っ子の「すてきな思いやり」が見られた時のご感想を教えてください！「家族に優しくしてくれる！」、「家族以外の人にこんなことをしていた！」、「自分から〇〇をしてくれている！」など、いろんなエピソード、お待ちしております！しめきりはありませんので、お気軽に担任までご提出ください。

年 児童氏名（ ） 保護者名（ ）